

2023年3月22日

三井不動産株式会社

台湾初のららぽーと「三井ショッピングパーク ららぽーと台中」 2023年5月16日(火)グランドオープン 北館は2023年4月下旬にプレオープン 台湾初出店16店や多くの日系ブランドを含む、約300店舗が集結

三井不動産株式会社(所在:東京都中央区、代表取締役社長 菰田正信)は、プロジェクト会社「三中東区啦啦寶都股份有限公司(※)」を通じ、台湾において初となるららぽーと「三井ショッピングパーク ららぽーと台中」の開発を推進してまいりました。今般、本施設のグランドオープンが2023年5月16日(火)に決定したのでお知らせします。なお、施設全体のグランドオープンに先駆け、南館(41店舗)は2023年1月17日(火)より順次オープンしており、北館(約260店舗)は2023年4月下旬にプレオープンいたします。

※当社の100%子会社である現地法人(台湾三井不動産股份有限公司)が本事業の推進のため100%出資し設立したプロジェクト会社

当社は、台湾3大都市圏(台北都市圏、台中都市圏、南部都市圏)すべてにおいてアウトレット事業を展開してまいりました。本施設の開業により、すでに開業済の「三井アウトレットパーク」3施設との相乗効果が期待できます。今後も、台湾においてより魅力的な商業施設事業を展開してまいります。

なお、本施設の出店店舗には、日本国外第1号店となるスーパーマーケット「LOPIA」や、「UNIQLO」「GU」の2ブランド共同の大型店舗など日系店舗も多く含まれます。物販・飲食・エンターテインメントなどさまざまな用途をワンストップで楽しむことができる様々な店舗で構成され、店舗数は、台湾初出店16店を含む約300店に及びます。

また、脱炭素をはじめとしたサステナブル社会実現に向けた取り組みや地域コミュニティの拠点づくりにも積極的に取り組んでまいります。お客さまが安心して施設で過ごせるよう、エレベーターボタンの非接触化や駐車場チケットレス化など、新型コロナウイルス感染症による新たな生活様式への対応にも努めています。

施設コンセプト「for the Vivid Colors of Life」

「for the Vivid Colors of Life」の施設コンセプトのもと、街と生活に彩りを添える新たなライフスタイルを提案します。北館・南館あわせて約300店舗が出店し、台湾内外のファッションブランド、日系ブランドを含む台中初進出店やご当地グルメ等で構成される2つのフードコートを含む飲食店、スーパーマーケットなどデイリー性の高い店舗が揃います。

さらに、サービスやエンターテインメント機能を充実させることで、台中の消費者ニーズに総合的に応える時間消費型商業施設を実現します。



<ららぽーと台中の特長> それぞれの詳細は次ページ以降で紹介します。

1. 立地・施設デザイン

活気あふれる空間を施設全体に創出し、台中における新たな拠点として魅力的なまちづくりに貢献することを目指しています。また、本施設は北館と南館の2棟に分かれており、周辺環境の特徴に合わせてメインカラーを抽出し、街並みとの調和するデザインを実現しています。

2. 台湾初、地元・台中初、新業態をはじめとした多彩な店舗ラインナップ

台湾初出店ブランドや地元台中で愛される老舗店舗の新業態など、充実の店舗ラインナップを揃えています。

- ① 台湾最大級の日系ブランド集積を含む、多様なファッション・コスメブランドラインナップ
- ② ファッションからエンターテインメントまで、ファミリー向け業態も充実
- ③ 台湾最大級の日系グルメフードコート「饗 OMOTENASHI Dining」と多彩なレストランゾーン
- ④ 暮らしを豊かにする充実のライフスタイルショップ
- ⑤ 様々なニーズに応える体験型店舗・生活便利サービス店舗

3. やさしい施設づくり

日本のららぽーと各施設で展開している「ママwithららぽーと」のノウハウを活かし、台湾でも「子育てに優しい施設」を目指した取り組みを展開します。また、お客さまおよび従業員の皆さまの利便性向上に資する取り組みを進めていきます。

4. 地域コミュニティの拠点づくり

周辺地域と連携して作りあげた壁面アートが設置されています。また、イベント開催等により、地域コミュニティの拠点づくりを目指していきます。

5. サステナブル社会の実現に向けた取り組み

脱炭素をはじめとしたサステナブル社会の実現に向けて、「太陽光パネルの設置」、「屋上緑化」、「雨水利用」、「透水性ブロックの使用」、「既存樹の保存」などに取り組んでいます。

6. 新しい生活様式への対応

エレベーターにおけるボタンの非接触化や駐車場チケットレス化など、お客さまが安心して施設で過ごせるよう、新型コロナウイルス感染症による新たな生活様式への対応に努めています。

7. Mitsui Shopping Park 公式アプリをはじめとした便利なサービス

台湾における三井不動産グループの商業施設で利用できる会員サービスが、本施設の開業を機に従来の「Mitsui Outlet Park 会員アプリ」から「Mitsui Shopping Park 会員アプリ」に変更になります。名称が変わるとともに、便利な機能も拡充されています。

1. 立地・施設デザイン

施設立地

台湾初の「ららぽーと」となる本施設は、在来線台湾鉄道「台中」駅から徒歩約6分の市街地エリアに位置しています。台中市の人口は約280万人(2023年1月時点)に達し、特に本施設から半径5km圏内、自動車で30分圏内に肥沃な商圈人口を有しています。また、台中市は年間4,500万人を超える観光客が訪れる活気のある都市です。本施設は台中における新たな拠点として、魅力的なまちづくりに貢献することを目指しています。

また、施設周辺には、「自然」や「憩い」を感じられる緑豊かな台糖湖濱生態エリア(湧泉公園)と、「歴史」や「賑わい」を感じられる地域の文化を伝える建国市場があります。本施設は台糖湖濱生態エリアと建国市場の中間にあり、まさに「憩い」と「賑わい」が調和される場所に位置しています。



狭域図

施設デザイン

本施設は北館と南館の2棟で構成されており、統一感がありながらもそれぞれに異なるデザインテーマを設け、個々に特徴のある施設デザインとなっています。

北館の施設デザインテーマは“NATURE(自然)”です。湧泉公園の豊かな緑をメインカラーとして抽出し、自然との共生をテーマとしました。都心の駅前商業ならではの洗練された上質なデザインに、木の素材感やぬくもり、柔らかな光の射す明るい空間をデザインのエッセンスに加えています。

南館の施設デザインテーマは“CULTURE(文化)”とし、地域の文化や歴史を伝える建国市場のレンガ色をメインカラーとして抽出しています。地域との共生をテーマとし、日常的な利便性を備えた商業として、カジュアルな素材感やデザインにレンガの素材感や市場の持つダイナミックな空間を取り入れています。



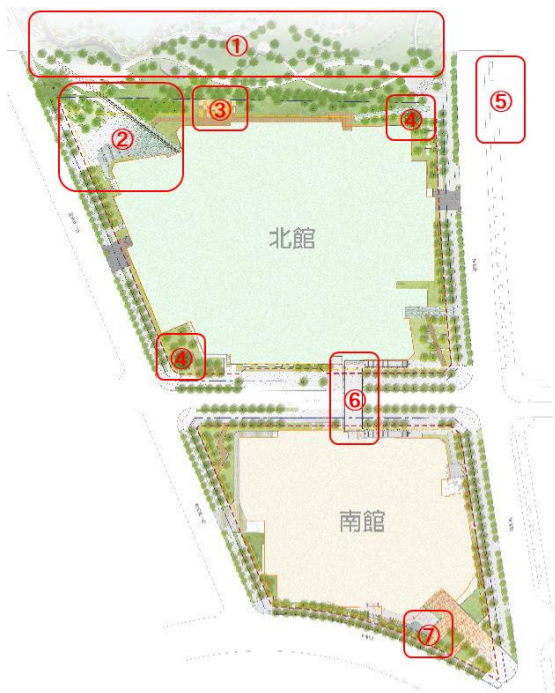
北館外観



南館外観

屋外計画・デザイン

隣地に広がる湧泉公園の自然を活かし、敷地内にも緑の連続性を持たせることで、お客さまが快適に過ごせる屋外エリアを創出しています。



- ① 台糖湖濱生態エリア(湧泉公園) ※市政府運営
- ② 噴水広場(水景、巡道車などのアート)
- ③ 遊具エリア
- ④ 既存樹の保存
- ⑤ 近接するドッグラン ※市政府運営
- ⑥ 接続ブリッジ
- ⑦ ポップジェット噴水+アート壁



北館の展望台から見た湧泉公園

噴水広場/ポップジェット噴水

敷地の北側には約1,500㎡の「噴水広場」を設置。人工芝で寝転んだり、ベンチでくつろいだり、だれもが思い思いに過ごすことができることが特徴です。また、日本製の屋外遊具も設置し、お子さまが存分に楽しむことができます。さらに、南館1階屋外には「ポップジェット噴水」があり、地面からリズムカルに水が噴き出す演出をお楽しみいただけます。



噴水広場(イメージ)



遊具(イメージ)



噴水広場(イメージ)



ポップジェット噴水

歴史を継承するアート・オブジェと台糖湖濱生態エリア(湧泉公園)

本施設は砂糖工場跡地を利用した再開発事業です。この土地が持つ歴史を継承し、砂糖工場時代に使用されていた列車(巡道車)をオブジェとして復刻しました。近接する湧泉公園に残るレールを当敷地内まで延長することにより、広場と公園の連続性を持たせています。

また、台中に生息する渡り鳥をテーマとしたアートを設計し、湧泉公園に寄贈・設置しています。当敷地に近接して市政府が運営するドッグランも設けられており、ペットと一緒に買い物を楽しんでいただきやすい環境となっています。



列車オブジェ(イメージ)



渡り鳥オブジェ(イメージ)

2層の接続ブリッジ

北館と南館を2階(室内)と3階(屋外)の2層構造かつ幅6メートル以上を確保した大型ブリッジで繋ぐことで、高い回遊性を実現。お客さまに快適にショッピングを楽しんでいただくことができます。3階は開放感を重視し屋根のないオープンエアのブリッジとなっているため、雨天時にはブリッジの両端でららぽーとロゴ入り傘を貸し出すサービスを実施する予定です(愛心雨傘)。



接続ブリッジ(イメージ)

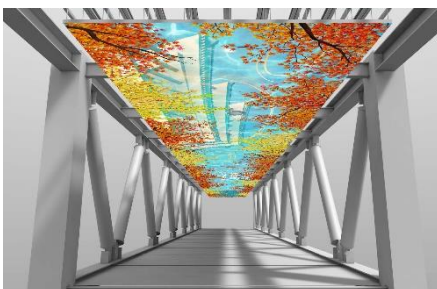
屋内計画・デザイン

台湾初の4K天井大画面LEDパネルや、3D映像演出

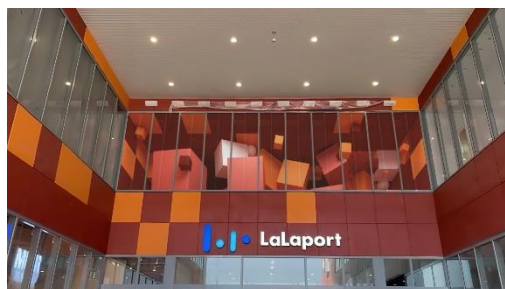
北館と南館の接続ブリッジ(2階)の天井には、台湾初となる4Kの天井大型LEDパネルを設置。ブリッジを渡る際に、大画面で季節を感じるアート映像などをお楽しみいただけます。

南館メインエントランスの上段には、外壁と一体化したシースルーLEDパネルを採用し、南館の外壁をモチーフにした映像や館内店舗の広告等をご覧いただけます。

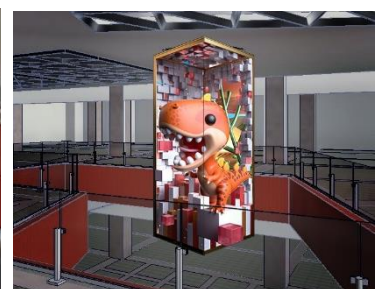
また、北館の吹き抜け部分に設置された360度LED画面の柱型スクリーンでは、スクリーンから飛び出してくるように見える大迫力の3D映像が投影されます。お子さまだけでなく、大人の方も楽しんでいただける演出となっております。



接続ブリッジの天井大型LEDパネル(イメージ)



南館エントランス

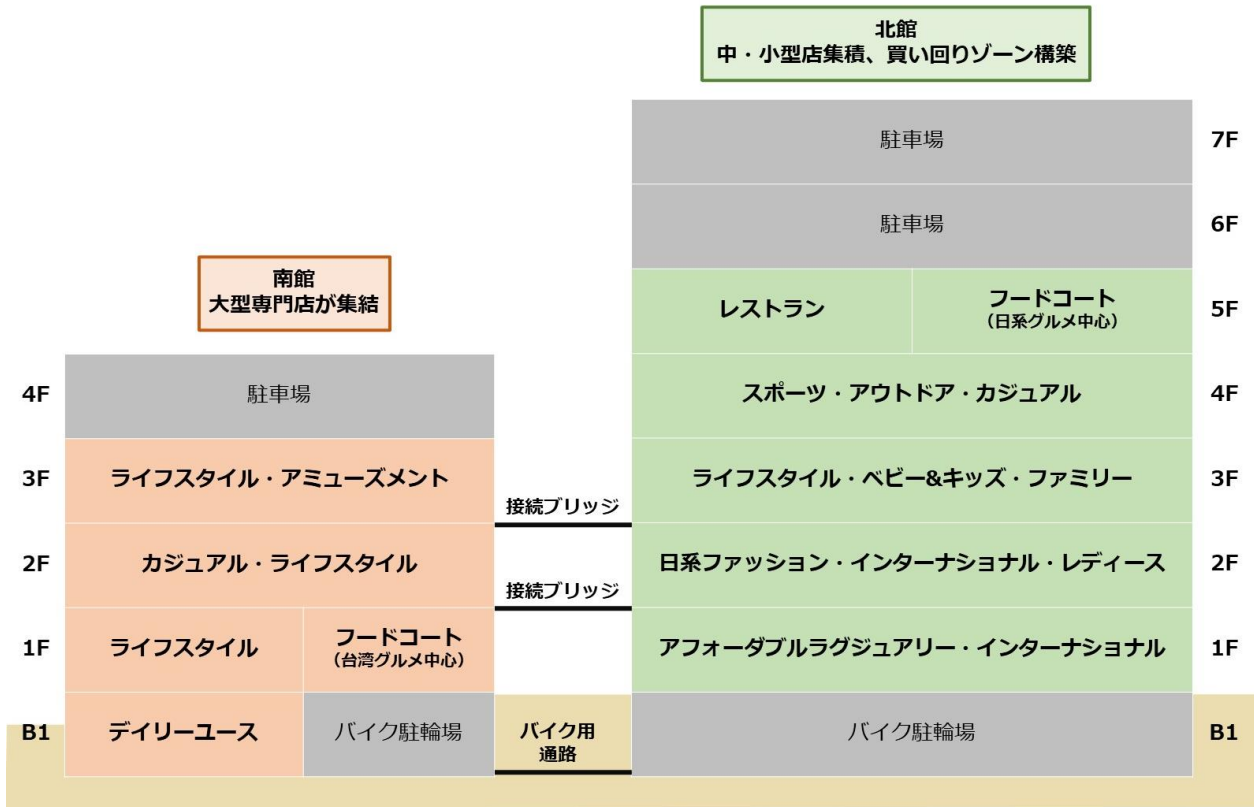


北館吹き抜け(イメージ)

2. 台湾初出店、台中初出店、新業態をはじめとした多彩な店舗ラインナップ

本施設では、台湾初出店や台中初出店、さらに新業態の店舗などを取りそろえ、台中エリアにこれまでなかった、ファミリーでお買い物も食事もエンターテインメントも幅広く楽しめるワンストップショッピングモールが実現します。

2023年1月17日より先行プレオープンしている南館では、日本国外第1号店となるスーパーマーケット「LOPIA」や、「UNIQLO」「GU」の2ブランド共同の大型店舗などの日系ブランドを中心とした大型専門店等が好評営業中です。さらにこの度、中・小型店舗が集積する北館のオープンによって、全館合計約300店舗が出揃います。



南館には日系大型専門店が集積

台湾初

GIGO

台湾初

LOPIA

台中エリア初

ah
akachan honpo

台中エリア初

カルディ
COFFEE FARM
咖樂迪咖啡農場

ABC-MART
MEGA STAGE

GU

niko and ...

NITORI
宜得利家居

HANDS
台隆手創館

matsukiyo

MUJI
無印良品

ユニクロ
UNIQLO

LifeWear

北館の魅力的な店舗ラインナップ

① 台湾最大級の日系ブランド集積を含む、多様なファッション・コスメブランドラインナップ

北館では台湾初出店となる「BRIEFING」「HARE」「LEPSIM」「nano·universe」「rim(of jins)」や、台中エリア初出店となる「土屋鞆製造所」「UNITED ARROWS green label relaxing」、台湾でも人気の日系セレクトショップ「BEAMS」「URBAN RESEARCH」等、台湾最大級の日系ファッションブランド集積を実現します。

また「THE NORTH FACE」の新コンセプト店をはじめ、「POLO RALPH LAUREN」「ARMANI EXCHANGE」「TOMMY HILFIGER」といった人気のインターナショナルブランドを含む多様なファッションブランドラインナップを揃えました。

台湾最大級の日系ファッションブランド集積

台湾初

nano
UNIVERSE

台湾初

HARE

台湾初

BRIEFING

台湾初

rim (of jins)

台湾初

LEPSIM

台中エリア初

TSUCHIYA KABAN™
TOKYO SINCE 1965

台中エリア初

UNITED ARROWS
green label relaxing

UR
URBAN RESEARCH

gelato
pique

SHISEIDO
GINZA TOKYO

BEAMS

FRED PERRY

人気のインターナショナルブランドを含む多様なラインナップ

台中エリア初

LAGINE

新業態

Vivienne
Westwood

新業態

THE
NORTH
FACE

新業態

TOMMY HILFIGER

adidas adidas

A | X
ARMANI EXCHANGE

Aēsop® ALLSAINTS

SABON

Timberland

KICKS
LOUNGE

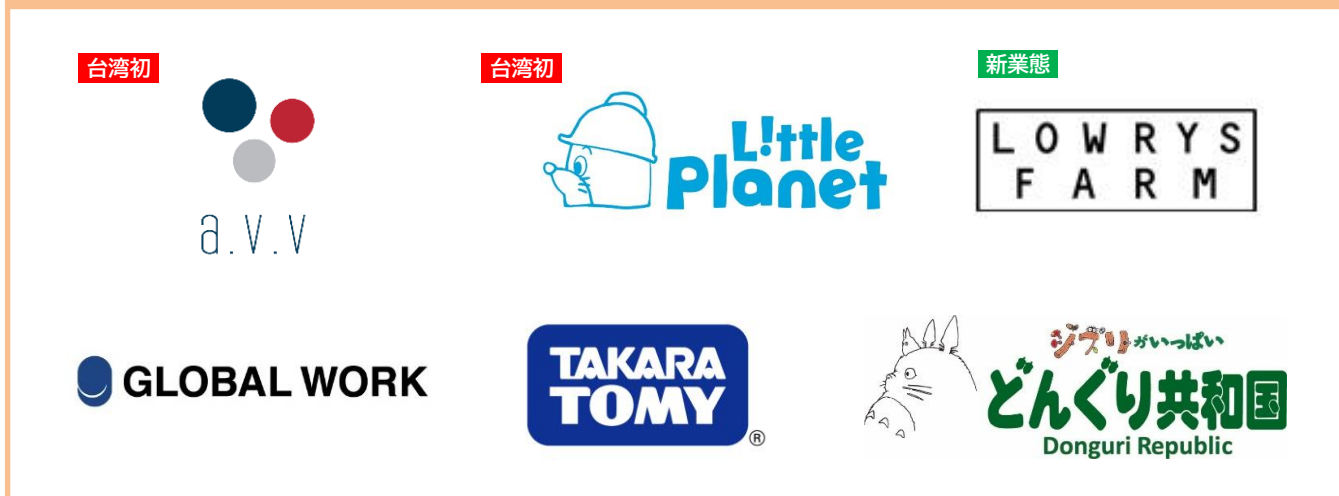
PANDORA BOSS

POLO
RALPH LAUREN

② ファッションからエンターテインメントまで、ファミリー向け業態も充実

台湾初出店となるデジタルテーマパーク「リトルプラネット」、トトロとネコバスがお客さまをお迎えする「どんぐり共和国」をはじめ、ファミリーが楽しめるエンターテインメント店舗が盛りだくさん。さらに台湾初進出の「a.v.v.」、「LOWRYS FARM」の新業態店舗、「GLOBAL WORK」等、ファミリー向けファッションブランドも充実。

ファミリーみんなで楽しめるブランドラインナップ



③ 台湾最大級の日系グルメフードコート「饗 OMOTENASHI Dining」と多彩なレストランゾーン

北館5階フードコート「饗 OMOTENASHI Dining」

約1,200席のフードコートには、台湾初出店の「ちゃんぽん亭」、台中初出店となる「韓国料理ビビム」、新業態「日本橋海鮮井つじ半」「西十郎W定食」「鶴橋風月Light」、台湾でも人気の「金子半之助」「鶏三和」「丸亀製麺」等が勢ぞろいし、台湾最大級の日系グルメフードコートを実現しました。



北館5階フードコート(イメージ)

台湾最大級の日系グルメフードコートを実現



ららスタジオ

北館5階のフードコート内には、多目的スタジオ「ららスタジオ」を設置します。貸切利用も可能で、パーティーや料理教室など様々な用途に対応しており、どなたでも自由にお使いいただけます(要予約)。



ららスタジオ(イメージ)

カフェ&レストラン

北館5階のレストランゾーンには台湾初出店「北〇 KITAMARU」、台中初出店「すしの美登利」「博多天ぷら山海」、牛角グループが展開する新業態「牛角BUFFET」など、注目の日系グルメが集積。さらに地元・台中のミシュランビブグルマン掲載店「沁園春」の商業施設第1号店といった地元人気店も出店し、多彩なグルメを楽しめるレストランゾーンがオープンします。

さらに、館内各フロアには台湾初出店の「武蔵野森珈琲Diner」、人気の「beard papa's」を含むカフェ・食物販も充実。ショッピング途中のお休み処としても、お友達との憩いの場としても幅広くお使いいただけます。



北館5階レストランフロア(イメージ)

多彩なグルメを楽しめるレストランゾーンや、館内各所のカフェ・食物販店舗

台湾初



台湾初



台中エリア初



台中エリア初



台中エリア初



台中エリア初



台中エリア初



商業施設初出店



新業態



新業態



④ 生活を豊かにする充実のライフスタイルショップ

台中初進出となるライフスタイル雑貨「Standard Products」が台湾でも幅広い世代から支持を得ている「DAISO」「THREEPPY」と一体となった新業態店舗として登場するほか、人気の日系ライフスタイル書店「TSUTAYA BOOKSTORE」等も出店、南館の「NITORI」等と合わせて充実したライフスタイルショップが生活を豊かに彩ります。

生活を豊かにする充実のライフスタイルショップ

新業態



台中エリア初



新業態



TSUTAYA BOOKSTORE









⑤ 様々なニーズに応える体験型店舗・生活便利サービス店舗

屋内型スキー教室「雪樂園」、指輪を手作りできるクラフトショップ「草山金工」などの体験型店舗も誘致。さらにネイルサロン「NAIL4U」、美容室、美容医療サロン、コインランドリーを併設したコンビニエンスストアなど、生活に便利なサービス機能も集積しています。

様々なニーズに応える生活便利サービス店舗も充実

商業施設初出店



KINJO®
草山金工



商業施設初出店



3. やさしい施設づくり

ママの声をカタチにする「ママwithららぽーと」

本施設は、日本のららぽーと各施設で展開している「ママwithららぽーと」のノウハウを活かし、台湾でも「子育てに優しい施設」を目指した施策に積極的に取り組み、子育て世代に優しい商業施設を実現しています。また、遊具やポップジェット噴水、「噴水広場」の人工芝エリア、フードコート&レストランゾーンに併設したキッズスペースなど、お子さまが遊ぶことのできるスペースが充実しています。



「小さな子どもがいても気兼ねなくショッピングを楽しみたい。」そんなママとパパの想いをカタチにした当プロジェクトは、三井不動産の子育てママ社員の社内提案から始まりました。「もっとママに優しいららぽーとへ。」をモットーに社内外のアドバイスやお客さまの声をもとに授乳室やキッズスペースなどの施設機能を充実させるだけでなく、親子で楽しんでいただけるイベントを開催するなど、子育て中のママとパパに優しい商業施設を目指しています。

また、台湾では、LaLaportの「La」と、中国語で引くという意味の「拉(La)」の音をかけて、「親子で手を取り合い成長する」という意味を込めています。

フードコート内(北館5階/南館1階)のキッズスペース

靴を脱いで遊ぶことができる約50㎡のキッズスペースには、0～2歳向けの「グリーン」エリア、3～6歳向けの「オレンジ」エリアと対象年齢を分けたゾーンを設けました。お食事前後にお子さまが遊べる場所があり、ファミリーでお越しのお客さまがより一層利用しやすいフードコートです。また、キッズスペースを囲むテーブルには、お子さま専用の固定椅子を設置しており、安心してお子さまとゆっくり食事をお楽しみいただけます。



フードコート内キッズスペース(南館)



お子さま専用固定椅子(南館)

親子で休憩可能な児童休憩室「ららkids」(北館3階)

「ららkids」は、お子さまだけでなく、親子で休憩することができるスペースです。遊び場やレストスペースを完備し、お子さまが食事する際にも使用することができます。また、フードコート内のキッズスペース同様、「ららkids」内もお子さまの年齢によって遊び場を分けております。



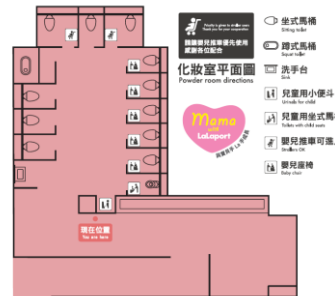
ららkids(イメージ)

キッズトイレなど子育てに優しい設計のトイレ

館内のすべての男子トイレおよび女子トイレに、子ども用の大便器・小便器・洗面を設置しました。また、ベビーキープを備えるとともに、ベビーカーがそのまま入る大きな個室もご用意。個室の鍵は二重鍵になっており、お子さまによる誤開錠を防止するより安全な設計を取り入れています。一部のトイレにはキッズ専用のトイレも設けるなど、より子育てに優しい施設となっています。多種多様なブースが設けられているため、トイレ内には案内マップを設置しています。



キッズトイレ



トイレ内配置案内マップ

おむつ替え室(各階)/授乳室(北館1、3、5階/南館B1、3階)

本施設は、おむつ替え室(北館南館ともに各階)、授乳室(北館1、3階、5階/南館B1階、3階)を設けております。



また、おむつ替え室には、以下の設備を完備しています。

- ・クッション性の高いホールディングマットを搭載したCOMBI社製のおむつ替え台
- ・SHARP社製の空気清浄機(プラズマクラスター®)



おむつ替えスペース



授乳室

館内各所に休憩スペースを設置 (計1,000席以上)

本施設では、共用部各所に計1,000席以上にも及ぶ休憩スペースを設けています。長時間のお買い物でも疲れないう、また、地元のお客さまにも施設に気軽にお立ち寄りいただきやすい設計を目指しています。



館内休憩スペース

働きやすい環境づくり

本施設では、開業にあたり2,000人を超える新規雇用を見込んでいます。従業員の皆さまが働きやすい環境の実現や、従業員満足度(ES)の向上を目指します。

充実した従業員休憩室

従業員の皆さまがしっかり休息が取れるよう、館内の北館2階・5階、南館3階の計3カ所に機能とデザインにこだわった従業員休憩室を設置します。

<従業員向け機能>

仮眠が取れるソファエリア／電子レンジ／フリーWi-Fi
携帯電話・PC 充電用コンセント／パウダーコーナー
歯磨き用洗面台／喫煙室／打合せブース／等



従業員休憩室

4. 地域コミュニティの拠点づくり

地域コミュニティとの連携

地元の地域団体・企業と連携したイベントを実施します。また、多様性のある地域参加型(体験型)イベントを実施することで、地域コミュニティの拠点となることを目指します。

地域活動

本施設のスタッフが毎月施設周辺の地域清掃を実施し、地域活動に貢献します。

また、北館に設置されるステージを利用した学生の英語スピーチ大会やお子さまの職場体験など、様々なイベントを実施することで地域コミュニティとの連携を図ります。



地域清掃活動の様子



壁面アート、菜園

南館メインエントランス付近の壁には、「人が歩いている模様」をテーマとして、地域の方々と本プロジェクト関係者の写真をタイルに焼き付けた壁面アートを設置しています。

日当たりのよい南館3階屋外テラスには農園施設を設けました。ここで収穫した食材は、地元の公益団体に寄付します。



壁面アート



屋外テラスの菜園施設

災害時における施設利用協力

かまどベンチ、マンホールトイレ、24時間非常用発電機などの機能を備えており、災害時に活用します。



かまどベンチ(イメージ)



マンホールトイレ(イメージ)

5. サステナブル社会の実現に向けた取り組み

本施設では、脱炭素をはじめとしたサステナブル社会の実現に向けて、環境負荷低減の施策に積極的に取り組んでいます。

施設の省エネルギー化に向けた各種施策の実施

以下の取り組みにより、施設のより一層の省エネルギー化およびCO2排出量削減を図ります。また、本施設は、環境に配慮した設計を採用し、台湾での建築物環境性能評価認定制度「緑建築」(*)で合格級を取得する予定です。

※「緑建築」では、緑化、保水、省エネ、廃棄物、CO2削減、室内環境、水資源、汚水、生物多様性の9項目の環境性能評価により建築物を格付けします。



<主な取り組み項目>

- ①屋上駐車場に太陽光パネル(北館南館合計の1日平均発電量=7,745kWh)を設置
- ②雨水を再利用し、外構等の灌水時に利用
- ③施設内の照明には省エネ効果のあるLED照明を採用
- ④外構に透水性ブロックを使用
- ⑤屋上を一部緑化し、環境に配慮
- ⑥敷地内の既存樹木を移植・保存
- ⑦磁気軸受ターボ冷凍機(低エネルギー空調システム)を採用
- ⑧インフォメーション待合札のチケットレス化
- ⑨EV充電器を設置した専用駐車場を完備
- ⑩使用しなくなった衣服の再利用を促すため、人気の中古品買取専門店「2nd STREET」が出店



南館屋上の太陽光パネル



ダイキン工業社製の磁気軸受ターボ冷凍機



自分らしくはたらける社会の実現のための取り組み

誰もが自分らしくはたらける社会の実現のために、当社施設・台中エリアにおいて初出店となる「伊甸社会福利基金会 BODY脈」(盲人マッサージ)が出店します。台中の視覚障がい者の皆さまの雇用機会創出の一助となることを目指します。



店舗完成イメージパース

6. 新しい生活様式への対応

接触感染対策(非接触化)

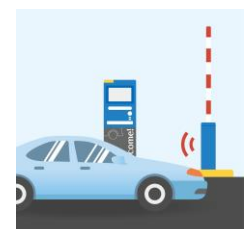
<接触感染対策>

- ・お客さま用および従業員用トイレ等水回りの自動水栓化、ドアレス化
- ・エレベーターをタッチレスで操作できる「非接触ボタン」の実装



駐車場チケットレス化

本施設では、「駐車場チケットレスシステム」を導入します。入庫ゲート・出庫ゲートでのカメラによる車番認証システムを採用し、駐車場入出庫時の駐車券が不要となります。入出庫時間を短縮することによりお客さまのストレスを軽減するとともに、混雑緩和への寄与を図ります。



7. Mitsui Shopping Park 公式アプリをはじめとした便利なサービス

Mitsui Shopping Park 会員(公式アプリ)

台湾における三井不動産グループの商業施設で利用できる会員サービスが、本施設の開業を機に、従来の「Mitsui Outlet Park 会員アプリ」から「Mitsui Shopping Park 会員アプリ」に変更になります。

名称が変わるとともに、便利な機能も拡充されており、Mitsui Shopping Park LaLaport・Mistui Outlet Parkの各施設^(※1)でポイントを貯められるようになったほか、新たに支払い機能^(※2)が加わりました。お手持ちのクレジットカードを紐づける(登録する)ことで、当アプリを活用することで決済が可能のほか、Mitsui Shopping Park ポイントの付与も同時に受けられるよう利便性が向上。特典クーポンの受信や施設での会員限定特典を受けられるなどの優待も用意されています。

※1 対象施設は台湾内に限る。日本の当社グループ施設ではポイント付与なし、利用不可。

※2 登録可能なクレジットカードは台湾内にて発行のものに限る。



Mitsui Shopping Park TW

提携クレジットカード(中国信託 Mitsui Shopping Park LaLaport 聯名卡)

Mitsui Shopping Park LaLaport台中では、提携クレジットカード「Mitsui Shopping Park LaLaport聯名卡」を発行することができます。駐車場料金優待サービスのほか、館内店舗でお買物の際の優待も用意しています。また、日本国内の三井ショッピングパークでも各種優待サービスを受けることが可能となります。



※特典やポイント付与等の詳細についてはウェブサイトをご確認ください。

<https://www.mitsui-shopping-park.com.tw/lalaport/taichung/tw/creditcard.html>

駅近立地だけでなく、交通利便性を向上されるサービス

在来線台湾鉄道「台中」駅から徒歩約6分に位置する利便性だけでなく、以下の項目を実施することで、より交通利便性を向上させる取り組みをしています。

- ・ 台中駅と本施設の間に無料シャトルバスサービス実施中(休日祭日のみ)
- ・ 車 約1,900台、バイク 約3,500台の潤沢な駐車施設(左記に加え、建国市場駐車場約600台と提携)
- ・ B1Fには専用タクシー乗り場を設置

インバウンドのお客さまに対しても便利なサービス

大型スーツケースが収容可能なロッカーの設置(北館1階/南館2階)や、海外観光客向け免税手続きカウンターを導入しています。また、日本国内の三井不動産グループの商業施設等の紹介をおこなう専用コーナーを設置しています。

台中初の冷蔵式ロッカー

台中の商業施設では初となる冷蔵式ロッカー(南館地下1階)を設けています。

【三井不動産の海外戦略について】

当社グループは、グループ長期経営方針「VISION 2025」にて「グローバルカンパニーへの進化」を掲げており、海外事業の飛躍的な成長を目指しています。これまでに、アメリカ・イギリスの欧米諸国に加え、アジア諸国・地域での事業を展開しています。

商業施設事業は、クアラルンプールおよび台湾諸都市においてアウトレット事業を、また、上海、クアラルンプール、台湾諸都市においてららぽーと事業を推進しています。さらに、シンガポール、タイ、中国、アジア諸都市では住宅事業、台北ではホテル事業、バンコク近郊では物流施設事業、インド・バンガロールではオフィス事業を推進しており、拡大する消費を積極的に取り込み、現地に貢献しながら、早期に利益を拡大すべく、成長著しいアジアでの事業を積極的に推進しています。今後も更なる事業の拡大を目指しています。

【添付資料②】「三井ショッピングパーク ららぽーと台中」計画概要

所在地	台湾 台中市東区進徳路600號(北館) 台中市東区進徳路700號(南館)
施設名称	三井ショッピングパーク ららぽーと台中 (現地表記:Mitsui Shopping Park LaLaport 台中)
交通アクセス	台鉄(在来線)「台中」駅徒歩 6 分
事業主体	三中東区啦啦寶都股份有限公司
事業形態	リージョナル型ショッピングセンター
敷地面積	約43,000㎡
延床面積	北館 約148,000㎡ 南館 約50,000㎡ 合計 約198,000㎡ ※立体駐車場面積含む
店舗面積	北館 約47,000㎡ 南館 約21,000㎡ 合計 約68,000㎡
建物規模	北館:地下1階 地上7階(店舗1~5階) 南館:地下1階 地上4階(店舗 地下1階~3階)
店舗数	北館 約260店舗 南館 41店舗 合計 約300店舗
駐車台数	1,900台
駐輪台数	3,500台
設計会社	大壯聯合建築師事務所
環境デザイン	外装・ランドスケープ:株式会社石本建築事務所、Buchan、 FORMium LANDSCAPE ARCHITECTS 内装:株式会社ランドアートラボ
施工会社	大成建設株式会社(日商華大成營造工程股份有限公司台湾分公司)

【添付資料③】 位置図

【広域図】



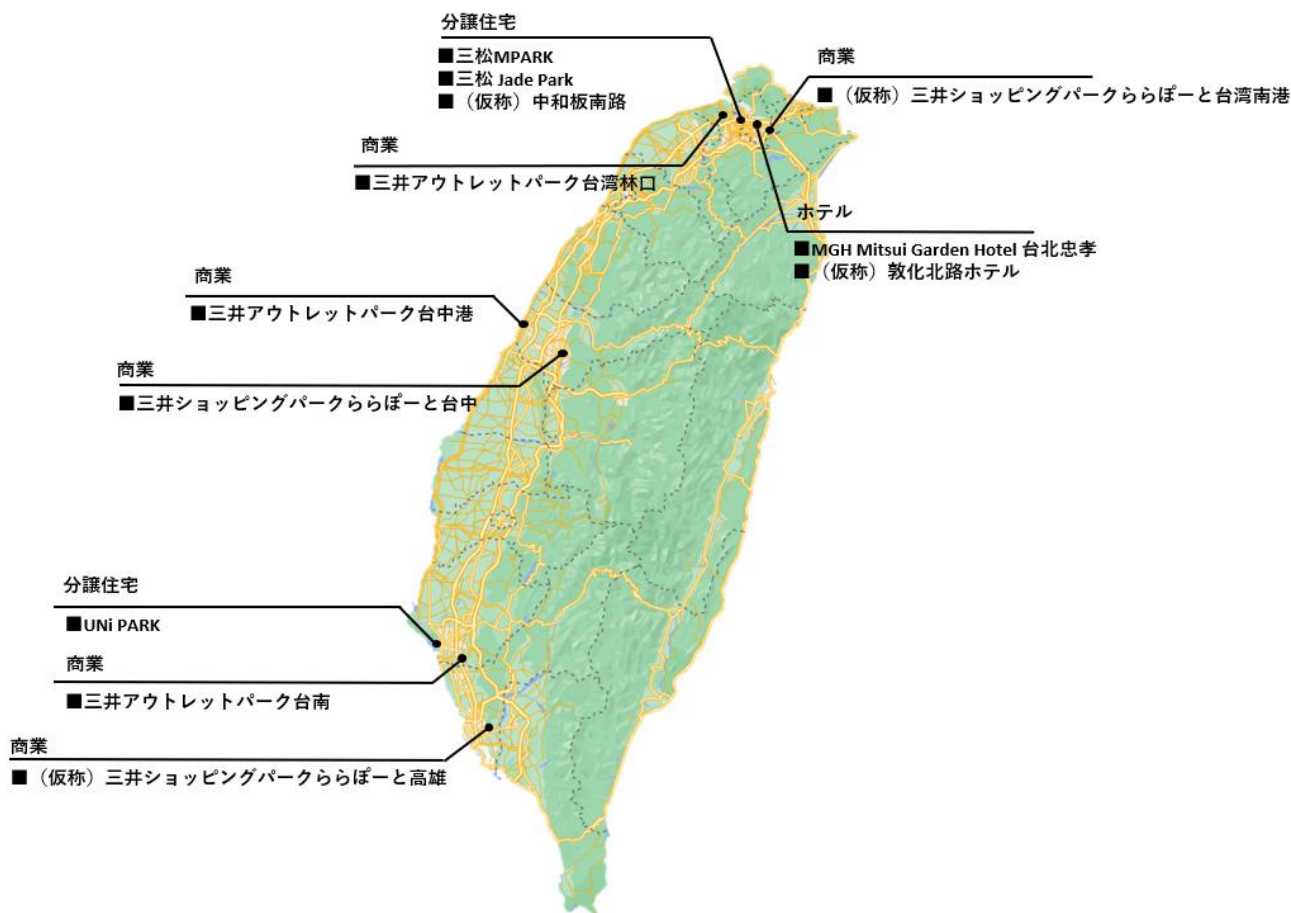
【狭域図】



【添付資料④】 三井不動産の台湾での事業について

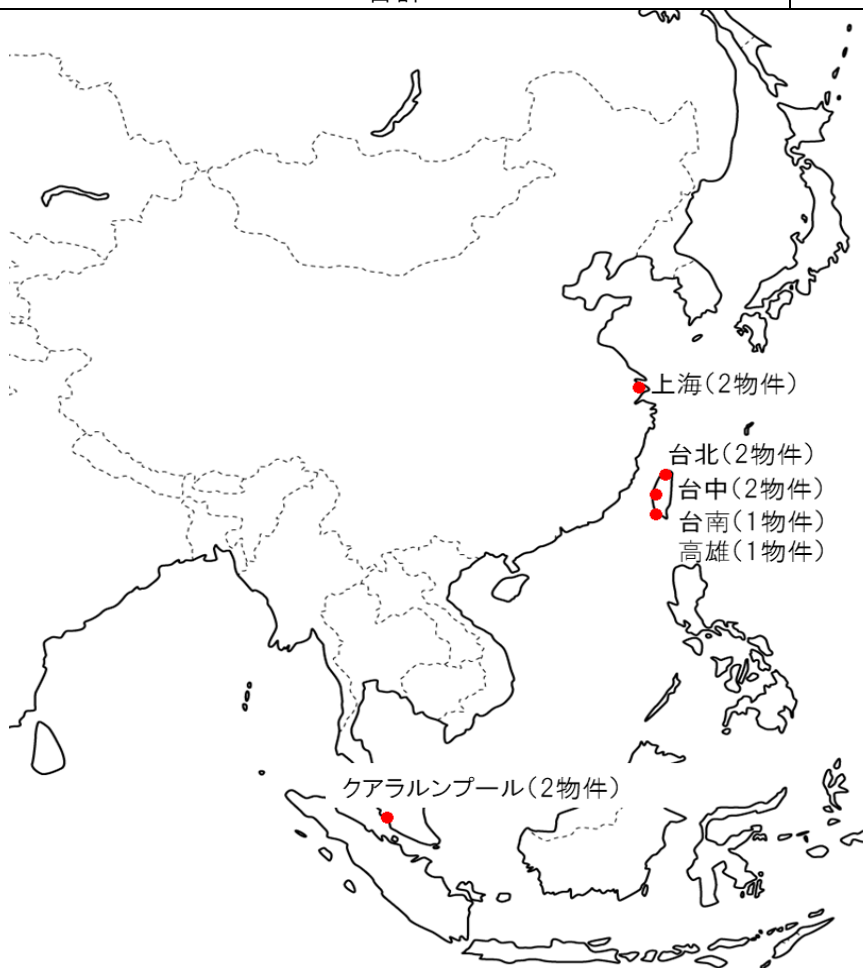
2016年に設立した現地法人(台湾三井不動産股份有限公司)を投資拠点として、台湾各地で商業施設事業、ホテル事業、および住宅事業の計11事業を推進しています。また物流施設、複合施設事業などの展開を目指し、今後も更なる事業の拡大をはかります。

主要用途	所在エリア	物件名	オープン・竣工
アウトレットパーク	新北市林口区	三井アウトレットパーク 台湾林口 1期 2期	2016年1月 2024年(予定)
	台中市	三井アウトレットパーク 台中港 1期 2期	2018年12月 2021年12月
	台南市帰仁区	三井アウトレットパーク 台南 1期 2期	2022年2月 2025年(予定)
リージョナル型 ショッピングセンター	台北市南港区	(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと台湾南港	2024年(予定)
	台中市東区	三井ショッピングパーク ららぽーと台中	2023年5月
	高雄市鳳山区	(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと高雄	2026年(予定)
ホテル	台北市大安区	MGH Mitsui Garden Hotel 台北忠孝	2020年8月
	台北市松山区	(仮称)敦化北路ホテル	2024年(予定)
住宅	新北市三重区	三松M PARK	2021年11月
	台南市安平区	Uni PARK	2025年(予定)
	新北市板橋区	三松Jade Park	2026年(予定)
	新北市中和区	(仮称)中和板南路プロジェクト	2027年(予定)



【添付資料⑤】 三井不動産が海外で展開する商業施設(2023年3月現在)

国/地域	物件名	開業年	店舗数 (約)	店舗面積 (約)
中国	三井ショッピングパーク ららぽーと上海金橋	2021年	180店舗	55,000㎡
	三井ショッピングパーク ららステーション上海蓮花路	2021年	90店舗	16,500㎡
台湾	三井アウトレットパーク 台湾林口	【1期】2016年	220店舗	45,000㎡
		【2期】2024年 (予定)	90店舗	26,900㎡
	三井アウトレットパーク 台中港	【1期】2018年	170店舗	35,000㎡
		【2期】2021年	50店舗	8,000㎡
	三井アウトレットパーク 台南	【1期】2022年	190店舗	34,000㎡
		【2期】2025年 (予定)	60店舗	10,000㎡
	三井ショッピングパーク ららぽーと台中	2023年	300店舗	68,000㎡
(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと台湾南港	2024年(予定)	250店舗	70,000㎡	
(仮称)三井ショッピングパーク ららぽーと高雄	2026年(予定)	250店舗	74,000㎡	
マレーシア	三井アウトレットパーク クアラルンプール国際空港セパン	【1期】2015年	130店舗	24,000㎡
		【2期】2018年	70店舗	9,800㎡
		【3期】2022年	5店舗	7,000㎡
	三井ショッピングパーク ららぽーと ブキッ・ビントアン シティ センター	2022年	400店舗	82,600㎡
合計		10 物件	2,425店舗	565,800㎡



【添付資料⑥】 三井不動産の商業施設(2023年 3月時点)



青字：リージョナル型ショッピングセンター
 橙字：三井アウトレットパーク

【添付資料⑦】 三井不動産グループのSDGsへの貢献について

三井不動産グループは、「共生・共存」「多様な価値観の連繋」「持続可能な社会の実現」の理念のもと、人と地球がともに豊かになる社会を目指し、環境(E)・社会(S)・ガバナンス(G)を意識した事業推進、すなわちESG経営を推進しております。当社グループのESG経営をさらに加速させていくことで、日本政府が提唱する「Society 5.0」の実現や、「SDGs」の達成に大きく貢献できるものと考えています。また、2021年11月には「脱炭素社会の実現」、「ダイバーシティ&インクルージョン推進」に関し、下記の通りグループ指針を策定しました。今後も、当社グループは街づくりを通じた社会課題の解決に向けて取り組んでまいります。

【参考】「脱炭素社会実現に向けグループ行動計画を策定」

<https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2021/1124/>

・「ダイバーシティ&インクルージョン推進宣言および取り組み方針を策定」

https://www.mitsui-fudosan.co.jp/corporate/news/2021/1129_02/

* 本リリースの取り組みは、SDGs(持続可能な開発目標)における10の目標に貢献しています。

目標1	貧困をなくそう	目標8	働きがいも経済成長も
目標2	飢餓をゼロに	目標11	住み続けられるまちづくりを
目標4	質の高い教育をみんなに	目標12	つくる責任 つかう責任
目標5	ジェンダー平等を実現しよう	目標13	気候変動に具体的な対策を
目標7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに	目標17	パートナーシップで目標を達成しよう



SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

以上

※本日、この資料は以下の記者クラブに配布しております。
○国土交通記者会○国土交通省建設専門紙記者会

<リリース画像のダウンロードサイト>
<https://www.mitsui-fudosan.co.jp/press/>